

九州工業大学基金
2020年度
活動報告書

Kyushu Institute of Technology



・ 創立110周年記念事業 ・

2019年度に創立110周年を迎えたことを記念して、老朽化し使用を停止していた旧体育館をリノベーションし効果的に利活用するため、創立110周年記念建設事業募金を設置し2019年4月から2021年3月までの2年にわたり募金活動を行いましたところ、大変多くの皆様から多額のご寄附をいただきました。謹んでお礼申し上げますとともに、以下のとおりご報告いたします。

創立110周年記念 建設事業募金 寄附実績		
本学との関係	件数	募金額(円)
卒業生	212	8,530,000
在学生・卒業生の保護者	93	1,843,000
在学生	13	180,000
現・元教職員	60	3,550,000
法人・団体	85	54,270,000
一般	11	652,005
募金総計	474	69,025,005

※件数は延べ数

リノベーション後の新施設の名称は「GYM LABO(ジム ラボ)」です。2022年春の完成を予定しています。旧体育館は、特徴的なデザイン、そして開放感のある空間を最大限に活かしつつ、「歴史の継承と新しい技術・交わりの形成拠点」として生まれ変わり、GYM LABO会員様と共にイノベーションの創出に寄与します。

《完成予想図》



開設当初の外観イメージ
(植栽、ランドスケープ、外構については設計が進行中です。)



今後の整備イメージ

新型コロナウイルス感染症対策学生支援事業

本学では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学資負担者の家計の急変による収入減などによって生活が困窮している学生(留学生を含む。)に対して、本学独自の「新型コロナウイルス対策給付型奨学金」(1人当たり5万円の返済を要しない奨学金)制度を整備し、2020年度は、373名の学生に総額18,650,000円を支援いたしました。

このような取り組みができましたのも、これまでにご寄附をいただきました皆様のおかげであり、深く感謝申し上げます。

現在も新型コロナの影響は収まらず、保護者の方々の収入減やアルバイト等の休止による収入減により修学継続が困難となっている学生もおります。今後も、学生の実情に応じて支援を強化していくこととしておりますので、引き続き皆様からの暖かいご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

九州工業大学・明専会「学生プロジェクト」ご協賛のお願い

学生プロジェクトとは、技術系競技大会への参加や、地域貢献に資するボランティア活動などの課外活動を学生が自主的に企画し、取り組む活動で、これを通して、問題発見・解決能力を養い、世界で通用する先導的リーダーシップを発揮できる創造的人材の育成を目指しています。

本学では、世界で通用する高度技術者育成のため、この学生プロジェクトに取り組む学生に対し、活動資金の支援を行っています。学生が自ら学び、自ら考え研鑽するこの学生プロジェクトにご理解・ご賛同いただきましたら「九州工業大学基金」を通して「学生プロジェクト」にご支援いただきますこと、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

■ 支援内容

- 1回にご支援いただける金額につきましては、個人・企業様等問わず、千円からお待ち申し上げます。
- 一年度に30万円以上のご支援をいただきましたら、当該年度の学生プロジェクトに関する広報資料におきまして、ご氏名(名称)もしくはロゴマーク等の掲載をご提案いたします。
- 一年度に100万円以上のご支援のお申し入れを、複数年度にわたりご支援いただける場合は、学生プロジェクトにおきまして、ご氏名(名称)等を冠した特別賞の創設をご提案いたします。

■ 特 典

- 学生プロジェクトへのご支援は、国立大学法人に対する寄附としての取り扱いになりますので、税制上の優遇措置が適用されます。
- 毎年度末に当該年度の学生プロジェクト成果発表会を開催しております。ご支援をいただきました方には、この発表会にご招待いたします。



World Robot Summit 2018で優勝



学生フォーミュラチーム走行時写真

■ 学生プロジェクトに関するお問い合わせ先

九州工業大学 学務課 学生・留学生支援係
〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1-1
TEL:093-884-3050
Mail:gak-gakshien@jimu.kyutech.ac.jp

学生プロジェクト



<https://www.kyutech.ac.jp/campuslife/project.html>

■ 学長メッセージ ■

平素より九州工業大学基金への温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学では、世界に通用する高度技術者育成のため、海外派遣をはじめ、学生に自ら学び自ら考える研鑽の機会を提供し続けるために、100周年記念事業を継承する形で、2016年6月から九州工業大学基金を立ち上げました。基金創設以降、多くの皆様から賜りました浄財は、学生の修学支援や課外活動支援、留学生支援等のため大切に活用させていただいております。

また、2019年度から2年にわたり行いました創立110周年記念建設事業募金に際しては、大変多くの皆様にご賛同いただき、温かいご厚志を賜りましたこと心より感謝申し上げます。いただきました浄財は、旧体育館をリノベーションし新たな研究施設「GYM LABO(ジム ラボ)」の整備に活用させていただきます。

本年も新型コロナウイルス感染症の勢いは収まらず、本学も様々な影響を受けておりますが、学生が安心して修学できる環境を整えるため、今後も基金等による継続的な支援を行ってまいりますので、引き続きご支援いただけますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます。



国立大学法人九州工業大学 学長 尾家祐二

学生からの御礼の声



博士後期課程社会人支援

(九州工業大学大学院博士後期課程では、学ぶ意欲と能力のある社会人学生を対象に、一定の基準を満たす学生に対し入学時の経済的支援を行っています。)

情報工学府 情報工学専攻 博士後期課程2年 赤坂 友幸

大学院博士後期課程社会人学生奨学事業に採用していただき深く御礼申し上げます。私は、鉄道技術を扱う研究所にて、安定輸送や省エネを目指した技術開発に携わっております。業務では、実際に鉄道現場に足を運び、課題や問題などを抽出し、それを解決するための研究を行っています。現場での作業が多い中、理論に基づいたアプローチができるよう、研究を深度化させるため、社会人として九州工業大学大学院情報工学府へ入学しました。現在は小田部研究室に所属し、先生方のご指導をいただきながら、鉄道の送電技術に活用できる電磁解析に取り組んでいます。

今後も博士号の取得に向け研究活動を続け、学び得た技術や知識を社会に広く貢献できるように努力する所存です。最後に、ご支援いただいております九州工業大学のOB・OGや企業の方々へ、心から深く感謝申し上げます。

留学生支援

(経済的に困窮している外国人留学生で、一定の基準を満たす学生に対し奨学金を支給する経済的支援を行っています。)



工学府 工学専攻 博士後期課程3年 フェミ イショラ Femi Ishola

まず、九州工業大学基金奨学金に深くお礼を申し上げます。私は本奨学金を2018年から受給させていただいており、授業料減免制度もあわせると経済的負担が大幅に軽減され、博士課程の研究に集中することができました。その結果、国際賞受賞などの目覚ましい成果を収めることができたのです。

九州工業大学は、世界の小型衛星産業界でも有数の学術機関であり、また日本全体も真の宇宙先進国と言えます。私はここで博士課程の研究ができることを大変光栄に思っています。九州工業大学での経験を通して、将来のさらなる成功に向け益々意欲が湧いています。私の最終目標は、民間の宇宙企業を立ち上げ、深宇宙探査に大革命をもたらすとともに、宇宙途上国にも手が届きやすいものにする事です。

この成功への旅路の一部となってくれた九州工業大学に、大きな感謝を伝えたいと思います。

部活動・サークルへの支援

(学生の部活動やサークルの課外活動に対する支援を行っています。)

硬式野球部主将 工学部宇宙システム工学科 3年 八木 大晴

この度は硬式野球部の活動に御支援して頂き、誠にありがとうございます。現在、硬式野球部は21名の部員と1名のマネージャーで活動しております。

今回の御支援で雨天でも使用できる練習球や練習用の折れにくいバットなど長い期間使用できる道具を購入させて頂きました。責善会予算は福岡六大学野球連盟リーグ戦参加費でなくなりますので、新しく道具が購入でき非常に嬉しく思います。OBの皆様の伝統を引き継ぎ、私たち現役部員も春秋のリーグ戦で勝利を収めるため日々精進しています。今春にありました春季リーグ戦では勝利こそ取られませんでした。部員の一名が六大学全体でのベストナイン賞に選ばれました。また、硬式野球部では昨年度より九州工業大学・明専会学生プロジェクトに採択されており、加速度センサを活用した練習を導入し、効率的な技術向上を目指しています。部員みな刺激を受け、着実に力をつけてきていると思います。今回やこれまでにいただいた数々のご支援、ご声援にリーグ戦勝利、そして全国大会出場という結果で返したいと思います。

今回のご支援、部員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



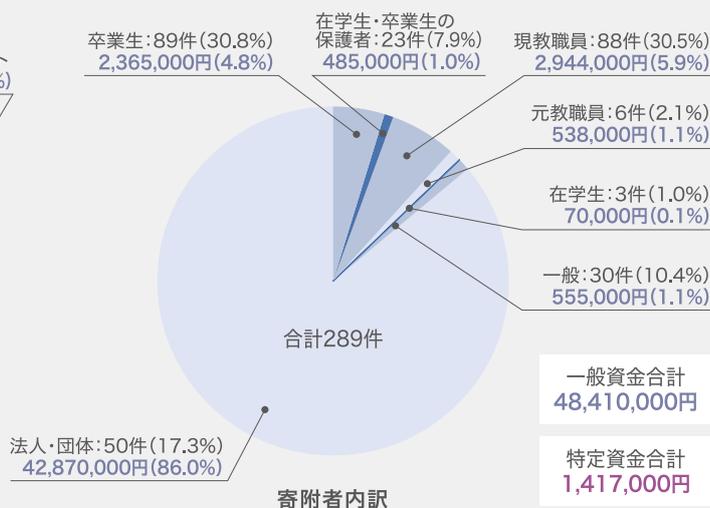
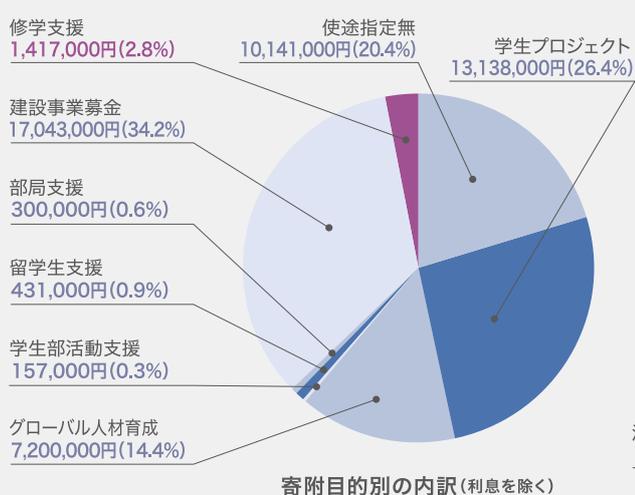
収支報告

	一般資金	特定資金	合計
2020年度寄附額	48,410,000	1,417,000	49,827,000
利息	200,000		200,000
2020年度支出額	45,461,883	3,447,900	48,909,783
差引収支額	3,148,117	-2,030,900	1,117,217

	一般資金	特定資金	合計
前年度からの繰越	274,400,489	5,254,605	279,655,094
差引収支額	3,148,117	-2,030,900	1,117,217
次年度への繰越	277,548,606	3,223,705	280,772,311

(単位：円)

2020年度収入

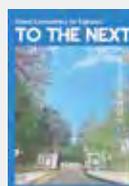


2020年度支出



学生の海外派遣、留学生交流事業への支援

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学生の海外派遣、対面で行う「留学生歓迎会・留学生会活動支援・国際友好の夕べ」に対する基金からの支援はごさいませんでした。一部オンラインで行いました。今後も、学生のグローバル志向の醸成、母国を離れた留学生が安心して生活できるようサポートを続けてまいります。



海外派遣プログラム紹介冊子
参加のきっかけ、渡航準備、現地での生活、海外派遣で学んだこと、後輩へのメッセージなどインタビュー形式で詳しく紹介。



ご寄附をいただいた皆様 <芳名録> (2020年4月～2021年3月)

ここに、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただき、心より感謝の意を表します。(氏名のご公表を希望されない方は、匿名にて表示しております。)

個人の方

青木 文子様	小田部 莊司様	世古 修路様	長谷部 浩一様
秋野 隆仁様	尾仲 武基様	瀬々 教道様	板東 恵三様
足立 二雄様	温 暁青様	芹川 聖一様	東野 充成様
阿萬 裕久様	嘉数 直樹様	高崎 秀紀様	匹田 政幸様
石井 弘明様	梶原 誠司様	高瀬 康様	樋野 文雄様
石川 眞澄様	片岡 秀司様	田口 勝也様	平位 純子様
市来 知幸様	加藤 了子様	武内 紀陽様	藤崎 一裕様
伊藤 靖様	川上 幸雄様	辰巳 博之様	許 宗焄様
井上 淳司様	川田 浩二様	田中 孝夫様	堀田 雄介様
井上 真吾様	菊池 孝明様	田中 雅浩様	本田 逸夫様
猪平 栄一様	岸川 修治様	田村 敦子様	馬 廷麗様
岩村 哲也様	工藤 慎一様	塚本 忠之様	松浦 文明様
植村 操様	蔵本 正彦様	鶴田 隆治様	松尾 航輝様
浮田 大樹様	桑原 秀夫様	出口 博之様	松岡 直哉様
梅田 正幸様	後藤 厚様	富田 達也様	松永 守央様
築楽 直人様	小西 武様	中臣 正司様	松村 英彦様
尾家 祐二様	御福 英史様	中嶋 義明様	宮部 圭介様
大下 恭敬様	近藤 敦子様	中寺 英二様	宮松 ひろみ様
大田 真彦様	近藤 英二様	中原 信隆様	村上 清人様
大鶴 英嗣様	近藤 貴寿様	永松 潤二様	安川 清一様
大鳥 聡様	税田 文三様	永松 靖子様	安永 卓生様
大濱 司志様	坂口 和代様	中村 亘様	山形 淳二様
大村 一郎様	坂本 寛様	西尾 一政様	山口 富子様
大村 孝昭様	柴田 明弘様	野田 尚昭様	遊佐 幸彦様
岡田 信也様	柴田 智広様	野俣 勝彦様	吉田 隆一様
岡本 卓様	章 宏様	野村 育洋様	吉田 宏彦様
岡本 良治様	白川 晋吾様	野村 笑美子様	米澤 恵一朗様
小川 和志様	新宅 秀信様	橋倉 貴子様	米田 雅史様
小川 健夫様	瀬川 赳夫様	橋本 大祐様	和田 光典様

匿名の方 70名様

法人・団体の方

iCAD株式会社 様

アイシン・ソフトウェア株式会社 様

株式会社iD 様

I-PEX株式会社 様

アプライド株式会社 様

株式会社アルトナー 様

株式会社エジソン 様

九建設株式会社 様

株式会社九州テン 様

株式会社QTnet 様

教職員共済生活協同組合 様

共同カイツック株式会社 様

株式会社熊平製作所 様

株式会社コマス 様

株式会社サザンクロスシステムズ 様

株式会社佐電工 様

伸和コントロールズ株式会社 様

ゼネラルエンジニアリング株式会社 様

株式会社ソフトウェア・サイエンス 様

株式会社千鳥屋本家 様

株式会社テクノス 様

TOTO株式会社 様

日販テクシード株式会社 様

日本コンピューター株式会社 様

日本製鉄株式会社 OB・OG有志 様

日本電管株式会社 様

株式会社ネオジャパン 様

株式会社ネットワーク応用技術研究所 様

八光オートメーション株式会社 様

株式会社ヒューマンテクノシステムホールディングス 様

藤田哲也博士記念会 様

不二輸送機工業株式会社 様

株式会社朋栄 様

ミハル通信株式会社 様

株式会社宮嶋建築設計事務所 様

一般社団法人明専会 様

株式会社安川電機 様

株式会社ラック 様

株式会社リコー 様

ワイジェイカード株式会社 様

匿名の法人・団体 6団体様

(掲載は五十音順)

■ メッセージ ■

井上 真吾 様

自由な校風が好きでした。研究の合間に24時間いつでも武道場で稽古できたのは良かったです。これからも自由な発想でいい研究して下さい。

工藤 慎一 様

後輩たちが活躍しているのを大変頼もしく思っています。

御福 英史 様

がんばれ、九工大。

藤田哲也博士記念会 様

シカゴ大学の藤田哲也博士研究室の遺品(書籍等)を、九工大同窓生他からの多額の寄附により日本に搬送し、長年かけて整理し、今度九工大図書館に藤田文庫設立の運びとなりました。

匿名 様

これからの九工大の活躍と発展を、未来に希望ある子供たちを応援しています。

柴田 明弘 様

経済的にご苦労されておられる学生さんへ
艱難にめげず勉学への精励と学生生活の充実に励んで下さい。

世古 修路 様

些少ですがお役立てください。

日本電管株式会社 様

九州工業大学OBが多数活躍しています。学生皆様の教育にお役に立てれば幸いです。

匿名 様

息子がお世話になり、ありがとうございます。
九州工業大学の益々のご発展を心よりお祈りしております。

匿名 様

生活苦の為に、学業を断念せざるを得ない学生がないように、大学も尽力されんことを期待します。

学生への継続支援

本学では、意欲のある学生に学びの場を提供するとともに、経済的にも支援しており、学生の海外派遣や留学生交流事業、学生に対する奨学事業など様々な支援事業を行っております。特に2020年度は、緊急対策として「新型コロナウイルス感染症対策事業」による学生への経済支援を行いました。(1ページ参照)

今後も、九州工業大学基金の活用などにより、学生の実情に応じて支援を強化していくこととしており、支出の見直しなどによる資金の捻出も行っておりますが、九州工業大学基金の残高は、多くの学生を支援するための財源としては十分とはいえない状況にあります。

これから先、継続的に支援していくためにも十分な財政的な支えが必要不可欠です。時節柄、大変厳しい状況にある中でのお願いとなりますが、本学の学生が経済的な理由により就学をあきらめることなく、意欲のある学生に学びの場を継続して提供していけるよう、未来を担う学生のため是非とも皆様からの温かいご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

ご寄附の申込方法

1 Webサイトからのお申込み

九州工業大学基金ホームページから、下記の方法でお申込みいただけます。

- 銀行振込
- クレジットカード決済
- コンビニ決済
- ペイジー決済(インターネットバンキング)

九州工業大学基金
<https://www.kyutech.ac.jp/fund/>



2 書面によるお申込み

九州工業大学基金事務局までご連絡ください。必要書類をお送りします。

寄附による税制上の優遇措置

九州工業大学基金は、現在、一般資金(全学的な事業基金)と特定資金(修学支援事業基金)の2種類があり、いずれの基金へのご寄附についても、税制上の優遇措置があります。

一般資金へのご寄附については「所得控除」による優遇措置に限定されますが、経済的な理由で修学に困難な学生に対して支援を行う特定資金への個人の方からのご寄附については、「所得控除」に加え「税額控除」の適用対象でもあり、ご自身でいずれか有利な制度を選択していただくことができます。

九州工業大学基金 税制上の優遇措置
https://www.kyutech.ac.jp/fund/kifu/tax_treatment.html



未来を思考する
「モノづくり」と「ひとづくり」

お問い合わせ先

九州工業大学基金事務局

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1
TEL: 093-884-3004 FAX: 093-884-3015
E-mail: kikin@jimu.kyutech.ac.jp

2021年9月発行